| | |
|---|---|
| 受發 | 第八五號 |
| 裁決定 | 十二月十七日 |
| 發送 | 十二月十 日 |

昭和十六年十二月十七日起案

庶務主任（印）

學校長（印）

件名　マツキンノン教師逮捕[收容]ニ付報告

案

年　月　日

文部大臣宛

校長

小樽高等商業學校

---

大日本帝國政府

昭和十六年一月十日

文部省實業學務局長（印）

小樽高等商業學校長殿

助教授任用ニ關スル件

客年十二月十七日附照秘第八四號ヲ以テ內照有之タル宮澤光一ヲ助教授任用ノ件ハ差支無之ニ付正式上申ノ手續相成度此段及回答

追テ本人ノ俸給ニ關シテハ給料ハ困難ニ付瓦斯本ヲ以テ上申相成度爲念

受 發 第八七號

裁決 定 十二月廿九日

發送 十二月廿九日

昭和十六年十二月二十九日起案

庶務主任

學校長

件名 マツキンノン教師ノ家族家庭ノ状況等報告ノ件

案

年 月 日 校長

文部大臣官房
秘書課長宛

小樽高等商業學校

備外国人教師逮捕ニ付報告

備外国人教師 米国人
ダニエル・ブルック・マツキンノン

右者本月八日午後二時本校ヨリ~~逮捕~~連行検挙セラレ候
ニ付此段及報告候也

追テ同人ノ出身地ハ北米合衆国マツサチユウセツツ州ニ
有之候間為念申添候

小樽高等商業學校

本日電信ヲ以テ御照會相成候備外國人
教師並ニ講師ニシテ敵國人タルモノニ関スル調
別紙ノ通ニ有之候間此段及報告候也

追テ別紙調書記載ノ他敵國人タルモノ在職不
致候間右為念申添候

小樽高等商業學校

記

備外國人教師

米國人　ダニエル・ブルック・マツキンノン

拘束中

家庭ノ状況

妻　秦

長女　エリザベス・キミコ　東京女子高等師範學校卒業

次女　リンコナ　津田英學塾卒業

長男　リチャード　第四高等學校在學中

妻ハ四年前ヨリ病床ニアリ、其ノ為家計困難様

小樽高等商業學校

小樽高等商業學校

給ヲ不足ナク横濱日本政府發行米貨公
債(亡母ノ遺産)四萬ドル所持アリ。

第　　面

No.

米国人マツキンノン
安政元年
妻　秦　花　山口縣士族
長女　エリザベス・キミコ・マツキンノン
　東京高師卒業
次女　サニコナ
　津田英学塾卒業
長男　リチャード　神田商店在勤中
前八四年前ヨリ病床ニアリ、普通ノ生計ハ困難、俸給ニ
七十弗ニテ足ラズ(日本政府米貨公債ノ少々ノ貯金ニ
(亡母の遺産)
の援助
ヨリ)

(10×14)　　(小樽高商編纂部)

小樽高等商業學校電報議案用紙

| 校長 | 部局長 | 主任 | 取扱者 |
|---|---|---|---|
| (印) | | (印) | |

昭和十六年十二月廿九日

件名　人事ニ関スル件

宛先　トウケウ
モンブダイジンカンボウ
ヒシヨカテウ

ニキウ一ヤセニ九カト
ホンヒニソヒニテ四ホ
ヘセリ」一オロ

貴電拝承備外國人教師ニ関スル
調書本日速達便ニテ報告セリ」
校長

字數　二七字　電話番號　四九五番　發送取扱者 (印)

(本)

リム 一一六 アオイテウ 五九一 コ一、三〇

官報

オタルシ レ

オタルコウトウセウゲウ ウ857 クコウテウ

キカウ一ヤセマタハコウシニシテテヤコクシンタルモノシモツカ

カウソクサレヲルモノトシカラザ ルモノトニ一クチシンノカテイ

ノシハ六（ツマノコクセキ、コド モノカズ オヨビ セイカツテ

イド トウ）ダ イシキユウ六トヨ四ホヘサレタシ四モ コミ ニ一八

貴校傭外國人教師又ハ講師ニシテ敵國人タルモノカ目下拘束サレ居ル者ト然ラザル者トニ區別シ其ノ家庭ノ状況（妻ノ國籍、子供ノ數及生活程度等）大至急取調ヘ報告サレタシ。文部大臣官房秘書課長

校長

16.12.29

小樽高等商業學校

拜啓政府の命により貴殿俸給は當該契約書第七條の條項により
減額被致候に付乍遺憾御通知申上候
將來に關して相互間契約に關係なく政府より新なる命令ある筈
にて該命令受領迄は何等申上兼候　草々

昭和十七年一月三十一日

小樽高等商業學校長　苫米地英俊

デー・ピー・マッキンノン殿

小樽高等商業學校

拝啓、政府の命により貴殿傭給は當該契約書第七条の條項により減殺被致候に付乍遺憾御通知申上候

将来に關して相互間契約に關係なく政府より新たなる命令ある迄にて該命令受領迄は何等申上兼候 敬具

月 日

校長

R、B、マツキンノン殿

小樽高等商業學校

拝啓 政府の命により貴殿傭給は當該契約書第七條の條項により減殺被致候に付乍遺憾御通知申上候

將來に關して相互間契約に關係なく政府より新たなる命令ある迄にて該命令受領迄は何等申上兼候 草々

昭和十七年一月三十一日

小樽高等商業學校長 苫米地英俊

アー・ビー・マッキンノン殿

小樽高等商業學校

~~D.B. Mackinnon, Esq~~
~~Dear?~~

Otaru, January 31, 1942.

To D.B. Mackinnon,

My dear Professor,

I greatly regret to inform you that under Government instruction your salary will be reduced in accordance with the terms in Art. 7 of the Contract concerned. (provided)

Nothing can be mention as to the future until we receive new instruction which is to be given out by the Government independent of the Contract ~~now existing~~ as between you and the College.

Yours sincerely,

H. Tomabechi

拜啓政府の命に依り貴殿と本校との契約は本日限り廢棄被致候に付誠に乍遺憾右御通告申上候就ては契約第九條に據り三ヶ月分俸給相當額金壹千參百參拾五圓也の小切手封入仕候

尚政府は過去に對しては俸給全額拂可致儀決定に付金參百九拾四圓七拾六錢也支給可被致の處稅金貳拾參圓六拾四錢也を差引き候間金參百七拾壹圓拾貳錢也支給被致候右の小切手は既に御落手と存候

敬具

昭和十七年三月三十一日

小樽高等商業學校長　苫米地英俊

デー・ピー・マッキンノン殿

(COLLEGE OF COMMERCE)
OTARU, JAPAN.

March 31st, 1942.

My dear Professor D. Brooke McKinnon,

It is my painful duty to notify you that by Government order the Contract between you and theCollege shall terminate on this date, so that according to Art. 9 of the Contract I am sending you herewith a check for Yen 1,335.00, being the amount of three months' salary.

The Government has also decided that full salary be given for the past months. The check for Yen 394.78, less Yen 23.64 for tax is already in your hands, I believe.

With best regards,

Yours very sincerely,

Dean,
College of Commerce,
Otaru.

Encl/Check.

小樽高等商業學校

[illegible]

小樽高等商業學校

拝啓 政府の命ニ依リ貴殿ト本校トノ契約ハ卅日限リ破棄被致候ニ付此段貴意ヲ得候右申通告申上候 就テハ契約第九条ニ據リ三ケ月分俸給相当額金壱千参百参拾五円也ノ小切手封入仕候

尚政府ハ過去ニ対シテハ俸給全額支払フ可ク決定ニ付 金参百九拾四円七拾六銭也ヨリ支給済ノ分ノ所得税金弐拾参円六拾四銭也差引残金参百七拾壱円拾弐銭也ノ小切手ハ既ニ御手許ニ[illegible]

敬具